

# カナダモデル 実践リーズニングまとめ



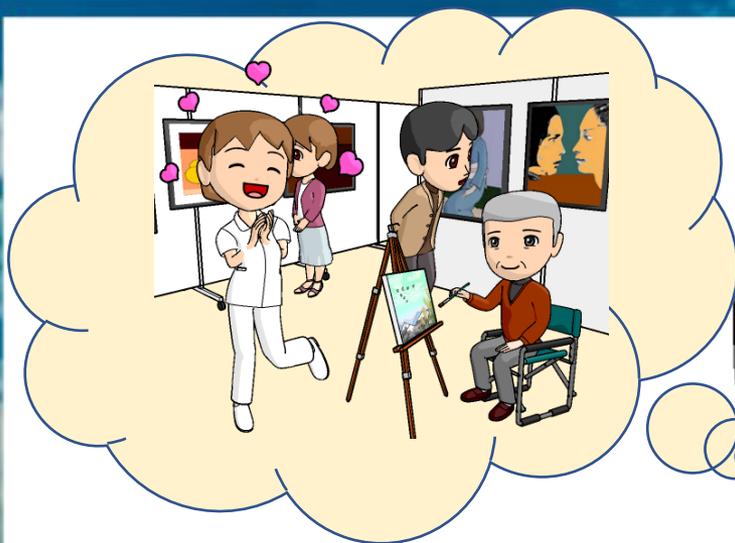
湘南OT交流会  
藤本一博

# まとめる必要性

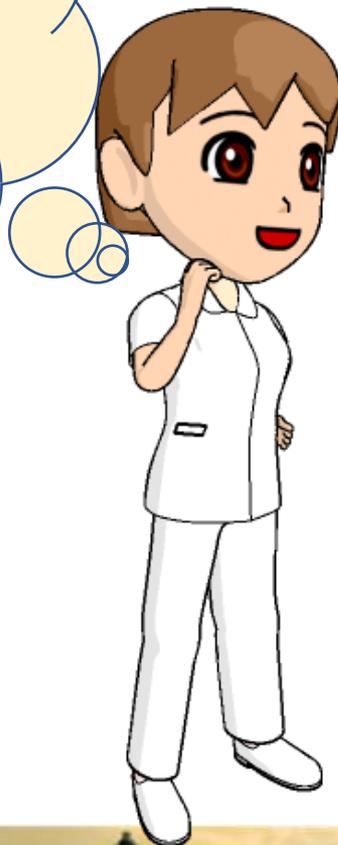
**臨床場面では、その時々の瞬時の意思決定によって  
介入や評価が進められるため、事例報告を通して  
その意思決定が  
「適切だったか？」  
「さらにいい方法があるかどうか」  
「CLの反応はこう解釈もできるのか」など  
リースニングや実践課程を振り返ることが必要**

齋藤佑樹編集：作業で語る事例報告第二版、医学書院、2022

# OT臨床家最大のもんだい



とにかく  
**忙しい**



**センスを主とした即興的な実践  
背景根拠に乏しい！  
文献的な裏付けをしていない**

**事例を振り返ることをせず  
専門性と向き合わない**

**見落としがあったのでは？  
気づきを得られる  
レジュメなどのまとめをしない**



# こういった研鑽は



**今のIT業界での勤務形態では  
行わなくても  
何とかこなってしまうので  
やらない人が多いです！**



**でも、やり続けたらどうなる？  
全事例に出来る範囲で  
自分だけでも振り返りまとめる！  
これを繰り返し続けたら？**

# 実践から報告への手順は パズルです！

## 事例情報（カルテ等）

80代女性A氏は早朝に自転車で買い物へ行く途中で転倒し、骨折をした。ROM拡大や筋力トレーニングとADLの回復を目的としたリハビリテーション病棟へ転院され、PTとOTの処方がされた。

## エピソード

1か月の介入により歩行車で院内のADL遂行が可能となったため、自宅退院へ向けた生活の再構築を行うために、A氏の生活環境を再検討した。A氏は家族との人間関係に疲れ、20代で単身上京しているが、長くても5年で退職し別の仕事に就くことを繰り返していた。仕事でも人間関係の問題が発生し、退職をするという繰り返しであり、人間関係の改善を試みたことは一度もないという人生であった。60代で生活保護となり、それからは人との交流を絶って生活をしてきた。人の目につかない早朝に買い物に行くことが主な外出であり、他の時間はアパートでひっそりと過ごしている。家では洗濯や調理などの家事と音楽鑑賞の作業があり、ラジオで流れる音楽をカセットテープに録音し、自分好みの選曲リストを作っている。カセットテープは新しいものではなく、同じものを何度も上書きしながら使う日々であった。このように人との交流を避けた時間を10年以上も続けるなど同じ作業の繰り返しで、「諦めの人生である」と述べていた。

平行棒での歩行が可能となり、歩行車で院内ADLが遂行可能となった現在の状態をCOPMにて評価した。その結果A氏は「自由に歩けるようになる」重要度10満足度3遂行度3、「買い物へ行ける」重要度10満足度1遂行度3、「荷物を持つことができる」重要度10満足度1遂行度3、「服

## 【基本情報】

A氏、80代女性である。独居生活中、買い物のため自転車で移動中に転倒し、骨盤骨折となる。保存的治療にて3週間経過後に当院回復期へ転院され、OTにはADLと在宅生活の再構築を目的に介入指示が出ていた。

## 【人生の物語】

A氏は家族との人間関係に疲れ20代で単身上京している。その後は無資格で就業可能な飲食店、事務仕事など多岐に亘る仕事をしてきたが、長くても5年で退職し別の仕事に就くことを繰り返していた。「人間関係の悪化が縁の切れ目」と語っている。60代で生保となり、それからは人との交流を絶って生活をしてきた。寂しくもなく家事と音楽鑑賞の作業があり、非常に充実しているとの認識を示している。

## 【本人のニーズ】

歩けるようになって早くひとり生活に戻りたい。

## 【家族のニーズ】

家族なし。

## 【リハの基本戦略（文献）】

骨盤骨折のリハは上肢訓練から開始し、荷重許容に応じて立位歩行へ移行する<sup>1)</sup>。

## 【疾患の予後予測（文献）】

2~3か月で骨癒合し、完治する事が可能である<sup>2)</sup>。

## 【MOHOに関する文献】

閉じこもりは生体学的、心理学的、社会学的なリスクを生じやすく、生きがいの創出が重要である<sup>3)</sup>。

## 【他部門評価】

医師：2か月程度で骨折は完治する見込み。歩行器から全荷重を許可する。血圧は160未満まで許可。

NS：初対面は冷たいが慣れると笑顔で交流できる。現在はADL車いす見守りレベルで過ごしている。

MSW：退院後は、全ての介護サービスを拒否中。

PT：骨折部の痛みある。歩行耐久性が低い。

## 【各種測定 検査値】

作業興味：粘土、折り紙など、コツコツ行う作業に興味を示し、会話は慣れた人へのみ心を開く。

事例で体験してみましよう

うえええ～い



# 事例情報（カルテ等）

80代女性A氏は早朝に自転車で買い物へ行く途中で転倒し、骨盤骨折をした。ROM拡大や筋力トレーニングとADLの回復を目的に回復期リハビリテーション病棟へ転院され、PTとOTの処方がされた。

関節ROM：右屈曲90度P 左屈曲20度P

痛みの評価：骨折部以外の圧痛なし。静止時痛なし。動作時に骨盤から大腿にかけて痛みが放散する。

歩行：痛みに耐えながら30M（2分半を要す）の歩行器歩行が可能。歩行後は血圧が収縮期150 5分の休憩で130と変動する。

FIM：運動53点，認知35点，合計88点。軽介助から見守りレベルであるも，入浴は中間浴の全介助で行っている状態である。

# エピソード

1か月の介入により歩行車で院内のADL遂行が可能となったため、自宅退院へ向けた生活の再構築を行うために、A氏の生活を検討した。A氏は家族との人間関係に疲れ、20代で単身上京しているが、長くても5年で退職し別の仕事に就くことを繰り返していた。仕事でも人間関係の問題が発生し、退職をするという繰り返しであり、人間関係の改善を試みたことは一度もないという人生であった。60代で生活保護となり、それからは人との交流を絶って生活をしてきた。人の目につかない早朝に買い物に行くことが主な外出であり、他の時間はアパートでひっそりと過ごしている。家では洗濯や調理などの家事と音楽鑑賞の作業があり、ラジオで流れる音楽をカセットテープに録音し、自分好みの選曲リストを作っている。カセットテープは新しいものではなく、同じものを何度も上書きしながら使う日々であった。このように人との交流を避けた時間を10年以上も続けるなど同じ作業の繰り返しで、「諦めの人生である」と述べていた。

# 面接

平行棒での歩行が可能となり，歩行車での院内ADLが遂行可能となった現在の状態をCOPMにて評価した．その結果A氏は「自由に歩けるようになる」重要度10満足度3遂行度3，「買い物へ行ける」重要度10満足度1遂行度1，「荷物を持つだけの力を得る」重要度8満足度5遂行度5，「暇つぶしの手作業」重要度7満足度1遂行度1の4つを挙げた希望した．

自由会話から他人に対する好き嫌いが強い性格で，一度嫌いな部分を見つけると，二度と話したくなくなることが多い．その嫌いな部分から目を背けることが出来ず，我慢の連続になるので，人と長く付き合うことはなかった．最近の10年は人との交流を避けて生活してきた．そのため，自分で買い物に行くなど，自分のことは何でも自分で出来なければならない．目標は治らなくても，自分のことは自分で全部できるようになることと話す．人を避けるため，スーパーではなく，人の少ない早朝や深夜でも営業をしているコンビニエンスストアでの買い物を多用している．入院生活で暇を持て余していることも語り，暇つぶしの作業を要望している

# あとはフォーマットに沿って埋めていくパズルです！

## 事例情報（カルテ等）

80代女性A氏は早朝に自転車で買い物へ行く途中で転倒し、骨盤骨折をした。ROM拡大や筋力トレーニングとADLの回復を目的とした1か月のリハビリテーション病棟へ転院され、PTとOTの処方が行われた。

## エピソード

1か月の介入により歩行車で院内のADL遂行が可能となったため、自宅退院へ向けた生活の再構築を行うために、A氏の生活環境を再検討した。A氏は家族との人間関係に疲れ、20代で単身上京しているが、長くても5年で退職し別の仕事に就くことを繰り返していた。仕事でも人間関係の問題が発生し、退職をするという繰り返しであり、人間関係の改善を試みたことは一度もないという人生であった。60代で生活保護となり、それからは人との交流を絶って生活をしてきた。人の目につかない早朝に買い物に行くことが主な外出であり、他の時間はアパートでひっそりと過ごしている。家では洗濯や調理などの家事と音楽鑑賞の作業があり、ラジオで流れる音楽をカセットテープに録音し、自分好みの選曲リストを作っている。カセットテープは新しいものではなく、同じものを何度も上書きしながら使う日々であった。このように人との交流を避けた時間を10年以上も続けるなど同じ作業の繰り返しで、「諦めの人生である」と述べていた。

平行棒での歩行が可能となり、歩行車で院内ADLが遂行可能となった現在の状態をCOPMにて評価した。その結果A氏は「自由に歩けるようになる」重要度10満足度3遂行度3、「買い物へ行ける」重要度10満足度1遂行度3、「荷物を持つことができる」重要度10満足度1遂行度3、「服

## 【基本情報】

A氏、80代女性である。独居生活中、買い物のため自転車で移動中に転倒し、骨盤骨折となる。保存的治療にて3週間経過後に当院回復期へ転院され、OTにはADLと在宅生活の再構築を目的に介入指示が出ていた。

## 【人生の物語】

A氏は家族との人間関係に疲れ20代で単身上京している。その後は無資格で就業可能な飲食店、事務仕事など多岐に亘る仕事をしてきたが、長くても5年で退職し別の仕事に就くことを繰り返していた。「人間関係の悪化が縁の切れ目」と語っている。60代で生保となり、それからは人との交流を絶って生活をしてきた。寂しくもなく家事と音楽鑑賞の作業があり、非常に充実しているとの認識を示している。

## 【本人のニーズ】

歩けるようになって早くひとり生活に戻りたい。

## 【家族のニーズ】

家族なし。

## 【リハの基本戦略（文献）】

骨盤骨折のリハは上肢訓練から開始し、荷重許に応じて立位歩行へ移行する<sup>1)</sup>。

## 【疾患の予後予測（文献）】

2~3か月で骨癒合し、完治する事が可能である<sup>2)</sup>。

## 【MOHOに関する文献】

閉じこもりは生体学的、心理学的、社会的なリスクを生じやすく、生きがいの創出が重要である<sup>3)</sup>。

## 【他部門評価】

医師：2か月程度で骨折は完治する見込み。歩行器から全荷重を許可する。血圧は160未満まで許可。

NS：初対面は冷たいが慣れると笑顔で交流できる。現在はADL車いす見守りレベルで過ごしている。

MSW：退院後は、全ての介護サービスを拒否中。

PT：骨折部の痛みある。歩行耐久性が低い。

## 【各種測定 検査値】

作業興味：粘土、折り紙など、コツコツ行う作業に興味を示し、会話は慣れた人へのみ心を開く。

## 【基本情報】

80代女性A氏は早朝に自転車で買い物へ行く途中で転倒し、骨盤骨折をした。ROM拡大や筋力トレーニングとADLの回復を目的に回復期リハビリテーション病棟へ転院され、PTとOTの処方がされた。

## 【人生の物語】

A氏は家族との人間関係に疲れ、20代で単身上京しているが、長くても5年で退職し別の仕事に就くことを繰り返していた。仕事でも人間関係の問題が発生し、退職をするという繰り返しであり、人間関係の改善を試みたことは一度もないという人生であった。

## 【本人のニーズ】

- 「自由に歩けるようになる」
- 「買い物へ行ける」
- 「荷物を持つだけの力を得る」
- 「暇つぶしの手作業」

## 【家族のニーズ】

家族とは疎遠

## 【リハの基本戦略（文献）】

## 【疾患の予後予測（文献）】

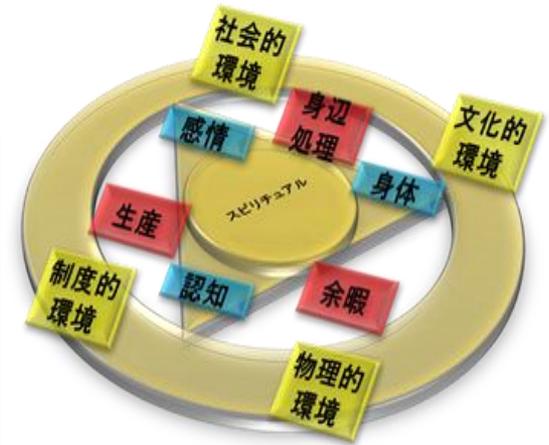
## 【CMOPに関する文献】

## 【他部門評価】

## 【各種測定 検査値】

# そこから概念図で整理していく

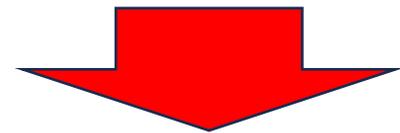
- **環境** (物理的) アパート 単身 独居  
(制度的) 生活保護
- **人** (身体的) 骨盤骨折 歩行障害  
(情緒的) 我慢の連続 あきらめの人生  
(認知的) 情報なし
- **作業** (生産) 選曲リスト作成  
(セルフケア) 家事  
(余暇) 音楽鑑賞
- **スピリチュアリティ**：  
人間関係の改善を試みたことは一度もないなど、人との交流をあきらめている



# 提供作業の考察！

- **環境** (物理的) アパート 単身 独居  
(制度的) 生活保護
- **人** (身体的) 骨盤骨折 歩行障害  
(情緒的) 我慢の連続 あきらめの人生  
(認知的) 情報なし
- **作業** (生産) 選曲リスト作成  
(セルフケア) 家事  
(余暇) 音楽鑑賞
- **スピリチュアリティ**：  
人間関係の改善を試みたことは一度もないなど、人との  
交流をあきらめている

**人に対する好き嫌いが強く、  
人間関係に悩む性格で  
交流を断つ生活に魂がある**



**人との交流を楽しめたら？  
どうなるんだろう？**

はい！ここまで！これから

- ① 演習の事例を聞く
- ② 事例からレジュメに！  
パズルの実施
- ③ CMOPで解釈
- ④ 介入方針立案

